

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	遊休・荒廃農地の活用による定住・二地域居住推進事業
対象地域	群馬県富岡市 野上地区、丹生地区、妙義町
活動概要	<p>富岡市内においても高齢化と農業・農村を取り巻く社会変化により、担い手を失った農地は毎年遊休農地となりその広さを増している。中でも丹生地区は県営土地改良事業が実施され、農地が増えているが、この農地も担い手不足から事業終了年度より遊休農地となり、ボランティアにより有効活用されている。</p> <p>一方、当NPOの見学者アンケート調査によると、定住・二地域居住希望者の75%が家庭菜園やガーデニングなど「土」との関わりを望んでいることがわかった。</p> <p>モデル事業では、安価な遊休・荒廃農地を転用し住居と家庭菜園をセットに提案するもので、土地面積は見学者の要望に従い、比較的広くとっている。野上地区、妙義町では遊休・荒廃農地を転用して住居を建て、敷地内に家庭菜園を作る。丹生地区の遊休農地活用は土地改良地区を対象としているため規制があり転用できない、そこで、近くの転用可能な農地に住居を建て、遊休農地は特定農地貸付法により農業生産法人が又貸し、「土」との関わりを提案するものである。</p>
今年度の主な取組	<p>《コーディネートの実施》 定住・二地域居住者受け入れを促進するために、NPO法人田舎暮らし支援ネットが中心となりトータルコーディネートを行い、居住者を支援する。</p> <p>コーディネートとは、Webサイト『NPO田舎暮らし支援ネット』での地域情報の発信から、遊休・荒廃農地情報の収集、農業体験ツアー募集、移住希望者の見学案内、移住後の細やかな支援、移住Q&A、そして自治体の視察案内など多岐にわたる。</p> <p>《農業体験ツアーの実施》 農業生産法人が移住希望者及び農園希望者を対象に、農業体験ツアーや交流会を開催する。交流会は地域住民も交えるため、交流により地域社会の理解につながり移住後滑らかな近所付き合いが期待できる。</p> <p>《ローコスト住宅の設計》 建築業者グループにより900万円以下の小住宅の基本設計を行う。これは、見学者アンケート調査の「移住の総予算」をみると1000万円以下が75%を占めるため、一般住宅の建築費に比べると圧縮され、定住・二地域居住の促進を図るためには自然環境や住環境に配慮した、ローコスト住宅の開発が必要となるからである。</p> <p>《シニア向け土地賃貸契約書の作成》 移住予算の不足により購入が出来ない場合や、相続を考えた時購入しない方が特策と考える人もいる。シニアが借地する場合、居住期間は20年を目安にするなど居住方法が一般住宅と異なるため、土地賃貸の条件も違ってくる。そこで、司法書士・不動産業者などの協力を得て、シニアの負担が少なく尚且つ促進につながる『シニア向け土地賃貸契約書』の作成を行う。</p>

活動結果	『ふるさと回帰フェア』等啓発活動を行っている中で、首都圏で移住相談会や電話・メールの相談を催すと、従来は田舎での農業や住環境に係る「楽しむため」の相談であったが、近年内容が違ってきた。それは、都会での生活が大変なため「田舎なら何とか生活できるだろう」との相談が多く、前に述べた従来とは違った目的の移住者(田舎難民)が増え、トラブルが発生する可能性がある。そこで「新たな公」の構成団体は、移住促進による諸問題の検討を行った結果、当NPOでは「移住希望者に対し地域住民との協調性の有無を確認し、NPOが移住者を選考、コーディネートすることが、コミュニティ創生につながる」との結論を出した。11月29日に農業体験が実施したが、もう一つの目的は移住実践者による連絡会の発足である。NPOの発案であるが、妙義町在住の細野正一氏を中心に、NPO支援の10組が参加した。当面、連絡会の活動は市内の移住実践者にも呼びかけ、活動の輪を広げると共に遊休農地の活用や、コミュニティ創生に貢献することが目的である。
当初予想していなかった効果	国土交通省住宅局の『地域住宅モデル普及推進事業』応募、窓口の群馬県に申請したところ、「14坪ロフト付住宅の建設」を事業受託した。生活体験施設は定住・二地域居住用の低価格モデル住宅を兼ねているので、長期滞在により移住希望者に具体的な提案ができ、定住・二地域居住促進につながり、新たな展開が広がると期待している。また、『農村生活体験・モデル住宅』は活用するソフト事業があって初めて生きるもので、次年度「新たな公」モデル事業が採択された場合、生活体験施設の活用主に、事業が方向転換すると見込まれる。
実施状況(写真)	 <p data-bbox="852 1346 1134 1384">○農業体験の様子</p>
応募団体名	特定非営利活動法人 田舎暮らし支援ネット
リンク	http://www.npoinaka.org/
部局/担当者名	理事長 並木 芳治
連絡先	0274-63-6522 090-1122-9154(並木)
推薦市町村名	群馬県富岡市